

らぼだより

No. 03

北九州市立大学 地域共生教育センター（421Lab.）では、「地域につながる、自分を広げる」の合言葉のもと、地域、企業と大学生が協力し、様々な活動を行っています。

活動に向けて、始動！！

四月二十九日（火）に、421Lab. オリエンテーション研修が行われました。この研修は、新しくプロジェクトに入ったメンバーにラボやプロジェクトがどういふものか知ってもらふこと、仲間同士で親睦を深めてもらうことを目的として開催され、百三十五名の学生が参加しました。当初、午前中は平尾台へ行く予定でしたが、雨のため大学内での活動となりました。多くの人と自己紹介をし合ったり、ランダムにグループを作り学内を歩きながらプロジェクトについて学んだり、体を動かしながら親睦を深めることができました。

午後からは山田緑地へ移動し昼食をとった後、プロジェクトごとにワールドカフェを行いました。これからどんな活動をしていきたいかを個人が考え、皆で共有して「未来新聞」を作り上げて行きました。それぞれがやりたいことを積極的に話し合いながら形にしている姿がとても印象的でした。

今回の研修で、学生の活動に対する気持ちが高まったことでしょうか。今後の活動に期待です。



研修の様子

挑戦への第一歩

四月九日（水）の三、四時間目を利用して、プロジェクト説明会が行われました。この説明会は主に学部の学生に向けて、421Lab. が普段どのような活動をしているのか、また、421Lab. に所属している組織にはどのようなものがあるかなどを紹介するものです。説明会には通算で五十名ほどの学生が聴きにきてくれました。来てくれた学生がみな真剣に耳を傾けてくれたおかげで説明会は大成功、各プロジェクトもそれぞれの魅力を存分に発信できました。ありがとうございます！

来場した学生に来ようと思った理由を伺うと、「大学生になり何か新しいことがしてみたい」と思い、ここでならそれが出来ると思ったので」と答えてくれました。

また、九日から二十三日には、421Lab. にも説明会、ならびにプロジェクトへの登録を行いました。

沢山の人の協力により、今年度は運営スタッフをはじめ、合計で二百九十七名がプロジェクトの一員として一緒に活動することになりました。

新しいことに挑戦する一歩を踏み出します。

餅つきと一緒に「未来づくり」

四月四日、北九州市立大学で入学式が行われました。

雨が降ったり止んだりの天気でしたが、入学式の後は様々なサークルの勧誘で体育館前や中庭はとても賑わいました。

私たち 421Lab. 運営スタッフは「北方みらいづくり会議」

の方々とは餅つきをして、新入生にきなこ餅を振る舞い、入学式をお祝いしました。餅つきには北方みらいづくり会議の方、421Lab. 運営スタッフだけでなく、新入生や在校生も

参加しました。「よし、えいやー」「それ、よいしょ！」などかけ声に合わせて餅をつき、盛り上がりました。私自身

不慣れでしたが、地域の方に「もつとゆつくり、息を合わせて！」と、教えて頂きながら楽しく餅つきをしました。餅

をつく機会はありませんので、貴重な経験になったと思います。

今回餅つきをすることで、北方みらいづくり会議の方に

421Lab. を知ってもらうことができ、私たちも北方みらいづくり会議の方々を知ることができました。これをきっかけに

今後も様々な形で関わり、繋がりを深めていこうと思います。



編集後記

今月の「らぼだより」はいかがでしたか？

四月は「始まり」の活動が多く、春らしい記事に仕上がったのではないかと思います。

次号からは新メンバーを迎え、新体制で制作に取り組んでいきます。

次号もどうぞよろしくお願ひします！

421Lab. は、地域社会に出て活動することで、次世代を担う人材の育成を目指すとともに、大学の地域貢献の一翼を担うことを目的に、2010年4月に設立されました。

地域をフィールドとし、学生がそこにある課題に取り組むことで、地域と大学が協力しながら成長していく社会づくりを進めて行く役割を果たします。

ラボってこんなところ！

発行 平成 26 年 5 月 20 日
 編集 緒形 かおり (外国語学部 3 年)
 奥村 美帆 (地域創生学群 2 年)
 下田 康之 (地域創生学群 2 年)